

# ぎのわん地域づくり塾 ニュースレター

Vol. 7

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会 運営：まちなか研究所わくわく  
共催：沖縄国際大学 後援：沖縄県地域振興協会

H29. 10. 7 ~ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします~ 発行：宜野湾市市民協働推進課

## 意見や質問を出し合い企画を磨いた中間発表

第6回 <10月7日(土)9:00-15:30> 20名参加  
地域課題解決の企画づくり

~ゼミ・中間発表~

まちなか研究所わくわく 宮道 喜一 氏



第6回講座は、各チーム、これまでに取りまとめた企画案の中間発表をしました。発表を受け、お互いに良かった点と質問をもらい、最終発表に向けて企画案を磨きました。

チーム名：チームそれでも人しか愛せない

テーマ：子育てサロンを地域づくりの起爆剤に！  
子育てサロンの回数を増やすと同時に、地域の資源を活用して、地域と交流できる子育てサロンにしたい。

チーム名：チームなびい

テーマ：高齢者と地域の関わり  
高齢者の趣味や特技を聞き、習っていきながら公民館で発表会をおこない繋がりをつくっていく。

チーム名：オールジェネレーションズ

テーマ：料理で繋げる全世代交流のかけはし  
食べる活動には、子どもから高齢者まで人が集まりやすい、参加型の実践活動ができる、人材がいる。料理を通して全世代を繋ぐ。

チーム名：やっぱりねこが好き

テーマ：プレ高齢者にいかに地域で活躍してもらうか？  
青年会OBをサポートして、さらに交流を深めていくことを提案。

チーム名：ぎのわんキャンディーズ

テーマ：新しく移り住んだ子育て世代が地域とつながるためには・・・？  
既に行われている地域活動等の情報を新しい住民（子育て世代）に届ける仕組みづくりを提案。

発表後、塾生や参加者から意見や質問をもらい最終発表に向けて企画をさらに磨きました。



## 塾生の声 ~レポートより~

~気づき・学び~

- 他のグループから頂いた感想や質問からグループの不足点などを客観的に知ることができた。
- 今後の発表に関しては、初めて聞く方にも分かりやすいようにまとめることが必要。
- 各グループの発表はテーマも角度が違い、非常に面白かった。
- 具体的な数字・事例などが資料としてあるとより分かりやすい。
- 最終発表に向け、今回でた課題を明確にして、もっと内容の濃い提案ができればいい。

~自分に生かしたいこと~

- 人の話を掘り下げるために質問力を高める。
- 課題をしぼること。
- 数値化したり、見える化する必要がある。
- 仮説を見直すことも必要。
- 主人公はあくまで地域の住民。地域で頑張っている人へのアンテナを張り続けたい。

今回の講座は…課題解決のための企画発表  
~修了式~

高崎経済大学 櫻井 常矢 氏

11月23日(木)9:00~ @宇地泊区公民館